

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○わかる授業づくりと体力の向上, 家庭・地域と一体となった共育を推進する学校</p> <p>○礼儀正しく, よく学び, 社会に役立つたくましい児童・生徒</p> <p>○小中連携校の強みをいかし, 基本的な生活習慣の確立と心の教育に真摯に取り組む教員</p>		<p>小中連携校の特色を生かした学力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研修を充実させ, 各学年の課題を明確にした指導方法の工夫を図る。 ・算数, 数学を中心とした基礎学力を身につけさせるために, 家庭学習への取組を保護者と連携しながら推進する。
		<p>発達段階に応じた基本的な生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の指導を中心とした「住吉スタンダード」の振り返りを定期的に行い, 重点的に指導すべき項目を全職員で確認して指導にあたる。 ・低学年, 中学年, 高学年および中学生に対する指導事項と指標を明確にし, それぞれの発達段階に応じた指導を行う。
		<p>個を大切にしたい特別支援教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童生徒の状況を的確に把握し, 教員が情報を共有してきめ細かな指導にあたる。 ・校内支援委員会を定期的に行い, 支援を要する児童生徒へのよりよい支援の方策を検討する。 ・LGBTQに関する研修を行い, 性の多様性への理解を深める。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>小中の連携を強め, 確かな学力向上を図る。</p>	<p>小中それぞれの研究授業をお互いに参観し, 学習規律を中心とした評価シートを作成して研修を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校, 中学校それぞれにおいて, 研究授業を参観し, 授業者へフィードバックする取組はできたが, 相互の参観はできなかった。 ・夏季と冬季の合同研修において, 各教科ごとに小中で話し合いをもち, 課題と今後の取組を明らかにすることができた。 ・「住吉っ子ノート」「SSノート」ともに提出率はほぼ100%を達成しているが, 自学の内容はまだ不十分である。 ・全教科および全学年において, 福岡市の平均を上回る目標は, 小学校6年しか達成できなかったため, 各学年の結果を分析し次年度につなげる必要がある。 	
	<p>夏季合同研修会において学力データをもとに各学年の課題を出し合い, 重点指導項目を確認する。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「住吉っ子ノート」「SSノート」を活用して, 自学に取り組む児童生徒の割合が85%を超える。 ・福岡市学習定着度調査の全教科および全学年において, 福岡市の平均を上回る。 		
<p>場に応じた言葉づかいを意識させ, 思いやりの心を育てる。</p>	<p>「住吉スタンダード」の教師による振り返りを学期に1回行い, 次の学期の重点目標を決め, 指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による振り返りを小学校は毎月, 中学校は学期ごとに行った。小学校は, 生徒指導全体会で, 中学校は生徒指導委員会で重点目標について話し合うことができた。 ・合同の挨拶運動については開校以来取り組んでいる。いじめゼロの取組に向けて, 小中の児童生徒が話し合う機会をもつことができた。 ・「自分にはよいところがある」に対する肯定的回答が小学校では92%, 中学校では87%となり, 十分に目標を達成できた。 ・夏季研修会においてQ-Uアンケートに関する研修を再度行い, ポイントを押さえた働きかけができた。 	
	<p>小学校挨拶ボランティアと中学校生徒会による挨拶運動を活性化させ, 進んで挨拶をする態度を育てる。</p>		
	<p>賞賛の声かけを積極的に行い, 「自分にはよいところがある」と答える児童生徒が80%を超える。</p>		
<p>特別支援教育のさらなる充実を図る。</p>	<p>Q-Uアンケートにおける学校生活満足群の児童生徒が増加するよう個々の児童生徒への働きかけを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に, 転入してきた職員に対して昨年度までの取組を説明し, 共通実践を図ることができた。 ・環境整備については, 小中全ての学級において学習に集中できるよう教室内の掲示物に配慮することができた。 ・小中ともに校内支援委員会を定期的に行うことができたが, 他の研修や会議の関係で月1回の開催はできなかった。小学校では, 特別支援教育に関する基本的な研修を行うことができた。 ・人権を尊重した教育や心の教育への取組について, 保護者アンケートでは肯定的回答が90%を超えており, 一定の評価が得られている。 	
	<p>小中合同研修会において, ユニバーサルデザインに基づく授業の進め方を確認する。</p>		
	<p>特別支援教育の視点から学習環境を整えるポイントを全職員で共通理解し, 実践に取り組む。</p>		
	<p>校内支援委員会を学期に1回以上開催し, 個々の児童生徒への支援について検討し, 取組を進める。</p>		
	<p>保護者アンケートにおいて, 学校の特別支援教育への取組に対する肯定的回答が80%を超える。</p>		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・心の教育の面などで連携校としての取組の成果が出てくればよい。 ・家庭学習にしっかり取り組むよう指導してほしい。 ・教師と児童生徒との信頼関係づくりを心がけ, 体罰によらない教育を進めてほしい。 ・小学校の不登校傾向児童に対する取組を進め, 中学校での不登校生徒を減少してほしい。 			